

2013 年度日本計量生物学会年会のご案内

企画担当理事

2013 年度の日本計量生物学会年会は、2013 年 5 月 23 日（木）午前より 24 日（金）午前に、パルセいいざか（福島市飯坂温泉. <http://www.paruse.jp/>）にて開催されます。現在確定している内容をご案内いたします。

宿泊につきましては、飯坂および近くの穴原温泉の旅館が学会にあわせた宿泊プランを用意してくれました。1 名、2 名からの宿泊も可能です。参加費、参加・講演申し込み等の詳細と併せて、日本計量生物学会ホームページ、メーリングリストなどで 2 月中にご案内いたします。

日時：2013 年 5 月 23 日（木）午前～2013 年 5 月 24 日（金）午前

会場：パルセいいざか（福島市飯坂温泉. <http://www.paruse.jp/>）

特別セッション：5 月 23 日（木）午後（予定）

「臨床試験における欠測データについて」

【趣旨】

臨床試験では様々な理由からデータが欠測する。欠測データが存在する場合のデータ解析ではいくつかの統計解析上の問題があるため、臨床試験での欠測データへの取り組みは重要な課題の一つである。

2010 年に、米国 National Research Council が、報告書「The Prevention and Treatment of Missing Data in Clinical Trials」を発表し、2011 年に European Medicines Agency は「Guideline on Missing Data in Confirmatory Clinical Trials」を示した。そして、2012 年に New England Journal of Medicine で、Little らによって、「The Prevention and Treatment of Missing Data in Clinical Trials.」が発表された。これらは、いずれも欠測データに対する包括的な考え方を示したものである。

本セッションでは、①最近の欠測データに関する考え方を概説すること、②米国の状況を示すこと、③実例を紹介すること、④討論を行うことによって、これから日本で実施される臨床試験データに対してどのように考えていくべきかを共有したい。特に、これまでよく利用されてきた LOCF (Last Observation Carried Forward) 法について、今後、どのように扱っていくべきかについて議論することを試みたい。

【演者・演題】

田中司朗（京都大学）「欠測データの予防（仮）」

伊藤陽一（北海道大学）「Missing に対する解析手法の概説（仮）」

岡本暁子（ヤンセンファーマ）「海外での欠測データの扱い（仮）」

河合統介，松岡伸篤，井洋一（ファイザー製薬）「欠測値を含む臨床データ解析の仮定と実

際（仮）」

山口拓洋（東北大学）「欠測データ解析の実例 –アカデミアの視点から（仮）」

安藤友紀(PMDA), 各演者「総合討論」

特別講演（2012年度学会賞受賞者講演）：5月24日（金）午前（予定）

演者：上坂浩之（大阪大学）

演題：「臨床研究に統計家はどう関わるか：医薬品開発の事例から（仮題）」

5月24日（金）午後からは、応用統計学会の年會が開催されますが、両学会合同特別企画「巨大データベースへの挑戦と社会・医療システムの変革」を実施いたします。また、同日の夕方に両学会合同での懇親會を開催いたします。（5000円程度を予定しています。）翌25日（土）の午後には、両学会会長によります市民講演會を開催いたします。いずれも初めて企画ですので、みなさまふるってご参加をお願いします。

応用統計学会・日本計量生物学会合同特別企画：5月24日（金）午後（予定）

「巨大データベースへの挑戦と社会・医療システムの変革」

応用統計学会・日本計量生物学会合同懇親會：5月24日（金）夜（予定）

市民講演會：5月25日（土）午後（予定）

【演者】

川崎 茂（日本大学経済学部， 応用統計学会会長）

大橋靖雄（東京大学大学院医学系研究科， 日本計量生物学会会長）

本年は、試みとして一般講演セッションにポスター発表を新設します。また、一般講演セッションの分野に、実データへの応用を目的とした「事例研究」を新規に加え、適用の際の方法の選択の指針を与える発表などを募集いたします。

また、若い皆さんに積極的に研究発表の機会をもっていただくべく、一般講演をされる学生会員の方に、旅費の援助をいたします。詳細は別途ご案内いたします。

多くの方の発表申し込みをお待ちいたしております。

発表申し込み期間（予定）：3月1日（金）～3月30日（土）

予稿原稿締切（予定）：4月15日（月）